

平成 30 年度
木造マイスター・ステップアップ事業
<第 1 回>

非住宅分野への取組みの可能性について
【報告書】

主催：(公社)日本建築家協会九州支部大分地域会
共催：(公社)大分県建築士会
後援：大分県、大分県木材協同組合連合会

日時：2018 年 8 月 23 日（木）9:15～16:30
会場：大分銀行宗麟館（5 階会議室）
大分市東大道 1 丁目 9-1
参加者：延 47 名／定員：50 名
入場料：無料

【内容】

◆1 時限 9:00～10:30

木造マイスターのこれまでの活動と課題
講師：ミカラクワ・パートナーシップ 有限会社 三浦逸朗
(参加者：29 名、CPD：1 単位)

前段で、現在、木材や木造・木質建築物の情報、それらを取り囲む状況を説明頂いた。それを踏まえ、平成 28 年度より大分県が取り組んできた木造マイスターについて、これまでの活動と今後の課題についてお話し頂いた。



◆2 時限 10:45～12:15

木造マイスターを中心とした座談会
司会：ミカラクワ・パートナーシップ 有限会社 三浦逸朗
(参加者：28 名、CPD：2 単位)

1 時限の内容を踏まえ、座談会を開催。三浦氏の司会により、参加者から様々な発言があり、今後の課題などを含めた活発な議論となった。また、午後からの講師である三井所先生からも貴重なコメントを頂戴した。



◆3 時限 13:15～14:45

中大規模木質建築の今後について
講師：アルセッド建築研究所 三井所清典
(参加者：41 名、CPD：2 単位)

昭和初期から今日までの木質建築・木造建築の変遷を、作品実例を通してお話し頂いた。社会情勢や法規制・構造基準など、様々な状況・情報もあり、大変貴重なお話を拝聴した。





◆4 時限 15:00～16:30

4号建築の木造設計のポイント

講師：川崎構造設計事務所 川崎 薫

(参加者：41名、CPD：2単位)

現在の木構造の基準の差異など、基本的な背景情報をお話し頂いた。それらを踏まえ、4号建築の構造設計に関する要注意点など、建築士として再認識させられる内容をお聞きした。



【まとめ】

全6回の中の第1回として、いずれの講義も、大分県の木質・木造建築設計者のスキルアップにつながるような、充実した内容の講義となったと考えています。

ご参加頂いた皆様にとって、少しでも有意義な時間であったと感じて頂けていると幸いです。

以上。



<懇親会前の虹>

(公社)日本建築家協会九州支部大分地域会
副会長・事務局 重田信爾 記